

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	京都文教高等学校
所在地	京都市左京区岡崎円勝寺町5
電話番号	075-771-6155

<p>(1)</p> <p>建学の精神</p>	<p>仏教精神を基盤とし、謙虚・誠実・親切をもって自己に課せられた使命を果たしうる人間の育成</p>																																										
<p>(2)</p> <p>本校の特色及び 将来展望</p>	<p>特進コース（クラスA文理／クラスB文理専攻／クラスB国際英語専攻）、進学コース、体育コースを設置。 週6日制、朝学習、各種検定試験受験の推進。 運動系・文化系合わせて多種のクラブと同好会。 Students Firstの姿勢のもと、生徒に寄り添った指導を行い、希望の進路を実現することで生徒・保護者の満足度を高めている。</p>																																										
<p>(3)</p> <p>・令和5年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 なし</p> <p>・前回改定</p> <p>年度</p>	<table border="1" data-bbox="760 1115 1900 1546"> <tr> <td>【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>考査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100,000</td> <td></td> <td>558,000</td> <td>210,000</td> <td>768,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>558,000</td> <td>210,000</td> <td>768,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>558,000</td> <td>210,000</td> <td>768,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料		100,000		558,000	210,000	768,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					558,000	210,000	768,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					558,000	210,000	768,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																					
	100,000		558,000	210,000	768,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			558,000	210,000	768,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			558,000	210,000	768,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>少子化という厳しい環境の中ではあるが、耐震改修・ICT基盤等必要なハード整備を終え、今後も財務体質を強化、経営環境を改善するために、人件費や管理経費の削減などに取り組む。またICT機器を利用した授業展開や特色ある教育を推進し、入学者増を図り安定した収入を確保することで、納付金額を据え置く努力をする。</p>																																										
<p>(4)</p> <p>教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況</p>	<p>教育内容について、英語4技能対策としてオンライン英会話の導入、放課後特別授業・入試直前講習等の拡大実施など、大学進学に向けた取り組みをさらに充実させていく。一方で、部活動指導員制度を導入し、生徒の課外活動をさらに充実させる。 施設整備については、校内のWi-Fi化とICT機器の整備を完了、授業等での使用ノウハウを構築し、GIGAスクール構想に基づいたさらなる拡充を目指す。</p>																																										
<p>(5)</p> <p>令和5年度の保護者 負担軽減策及び考え方</p>	<p>府が実施している「あんしん修学支援（国就学支援金＋府上乗せ）」など、国・各府県の施策に合わせ、まず低所得者世帯の負担軽減について優先的に取り組む。 なお従前からの学校独自の奨学・修学支援制度は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都文教高等学校特進コース奨学金 ・京都文教高等学校クラブ奨学金 ・京都文教高等学校プラバー奨学金 																																										
<p>(6)</p> <p>今後5年程度の保護者 負担軽減計画</p>	<p>財務体質の強化を図ると同時に管理経費の削減に取り組み、加えて学校における働き方改革を行い、長時間労働の改善による人件費の削減に取り組む。 その結果、可能となれば保護者負担削減策の追加策定に取り組むと考えているが、社会情勢により判断し、検討していく。</p>																																										